



## 2026年5月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月10日

上場会社名 Cocolive株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 137A URL <https://cocolive.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 考伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 木場田 貴彦 TEL 03 (6386) 0038  
 定時株主総会開催予定日 2026年8月21日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2026年8月20日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年5月期の業績（2025年6月1日～2026年5月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	1,447	11.2	197	△29.3	202	△28.2	149	△28.7
2025年5月期	1,301	26.7	279	30.0	281	38.4	209	39.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年5月期	49.33	45.86	15.5	17.8	13.7
2025年5月期	71.39	64.22	27.0	30.4	21.5

(参考) 持分法投資損益 2026年5月期 -百万円 2025年5月期 -百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期	1,207	1,053	86.3	345.75
2025年5月期	1,057	889	83.9	298.57

(参考) 自己資本 2026年5月期 1,042百万円 2025年5月期 887百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年5月期	120	△28	△70	899
2025年5月期	221	-	15	878

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2027年5月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

### 3. 2027年5月期の業績予想（2026年6月1日～2027年5月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,601	10.7	167	△15.1	173	△14.3	125	△15.7	41.25

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年5月期	3,046,840株	2025年5月期	2,971,000株
2026年5月期	33,100株	2025年5月期	一株
2026年5月期	3,022,722株	2025年5月期	2,929,962株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済は、日銀による段階的な利上げに伴う金融環境の変化や、物価・賃金の上昇基調、為替相場の変動等により、先行きが依然として不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況の中、住宅ローン金利の上昇懸念等を背景とした不動産購入者の購買マインドの変化が見られるほか、建築資材の高止まりや深刻化する人手不足への対応が急務となっております。そのため、国内の不動産取引業の事業者においては、従来の営業スタイルの見直しなど、デジタルツールを用いた「業務プロセスの自動化」や「顧客管理の高度化」へと舵を切る流れが増加しており、業界全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）は一步進んだ実用化のフェーズを迎えております。

このような環境において、当社は不動産業界に特化したマーケティング・オートメーションツールである『KASIKA』を提供してまいりました。

その結果、当事業年度の経営成績は、売上高は1,447,436千円（前期比11.2%増）、営業利益は197,636千円（前期比29.3%減）、経常利益は202,151千円（前期比28.2%減）、当期純利益は149,129千円（前期比28.7%減）となりました。

なお、当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は1,130,944千円となり、前事業年度末に比べ110,560千円増加いたしました。事業の伸長により、預金が21,299千円増加、売掛金が11,231千円増加した他、自己株式取得のための預け金が76,634千円増加したことによるものであります。固定資産は76,388千円となり、前事業年度末に比べ38,802千円増加いたしました。これは主に本社移転に伴い、差入保証金が26,115千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,207,333千円となり、前事業年度末に比べ149,363千円増加いたしました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は154,300千円となり、前事業年度末に比べ13,979千円減少いたしました。これは主に未払金が12,337千円増加したものの、未払法人税等が31,631千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、154,300千円となり、前事業年度末に比べ13,979千円減少いたしました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は1,053,033千円となり、前事業年度末に比べ163,343千円増加いたしました。これは主に当期純利益が149,129千円発生したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は86.3%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より21,299千円増加し、899,784千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは120,474千円のプラス（前事業年度は221,406千円のプラス）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上202,151千円や未払金の増加額12,337千円があった一方で、売上債権の増加額11,231千円や、法人税等の支払額92,039千円等があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは28,359千円のマイナス（前事業年度は変動なし）となりました。これは主に、差入保証金の差入による支出が26,634千円発生したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローは70,815千円のマイナス（前事業年度は15,107千円のプラス）となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入が30,017千円発生した一方で、自己株式の取得による支出24,198千円および自己株式取得のための預け金の増加額76,634千円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社では、「ソフトウェア」という市場の中に、「マーケティング・オートメーションツール市場」があり、「マーケティング・オートメーションツール市場」は「SaaS型(クラウド型)」と「オンプレミス型」(注1)に分類されるものと考えております。そのうえで、KASIKKAはマーケティング・オートメーションツール市場のSaaS型に分類されるものとして位置付けております。

当社が主要な市場と想定しているSaaS型を含むSaaS/PaaS型ソフトウェア(セールス/マーケティングカテゴリー)は、運用コストの効率化や迅速な導入が可能といった基本的なメリットに加えて、最新のマーケティングテクノロジーへのアップデートが頻繁に可能な点やAPIにより他SaaSや外部データと高い連携性が実現できる点などにより、引き続き成長すると見込まれています。その結果、市場規模は2024年度から年平均9.0%で成長し、2029年度には4,841億円となる(予測)ことが見込まれております(注2)。

加えて、不動産取引業の事業者数は66,942社となっており、就業者数も352,108人とサービス提供拡大の余地が大きい市場と見込んでおります(注3)。

このような市場環境の下、当社が提供するKASIKKAに対する需要も市場の拡大に伴い高まっていくものと考えており、引き続き市場から強く支持されている結果、売上高は右肩上がりですべて推移しています。

当社では、2027年5月期を、引き続き拡大する需要を確実に取り込み、将来の圧倒的な利益へ変換し、飛躍するための高収益体質への『助走』期間として捉えています。

以上の見通しを踏まえ、2027年5月期の業績見通しは、売上高1,601,956千円(前期比10.7%増)、営業利益167,830千円(前期比15.1%減)、経常利益173,268千円(前期比14.3%減)、当期純利益125,670千円(前期比15.7%減)を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

- (注) 1. オンプレミス型とはソフトウェアの提供及び稼働等に必要となるサーバや関連機器等を自社で保有し、運用する形態をいう。
2. 株式会社富士キメラ総研『ソフトウェアビジネス新市場 2025年版』より
3. 事業者数及び就業者数のいずれも総務省統計局 令和3年経済センサス-活動調査 事業所に関する集計及び企業等に関する集計 2023年6月27日公表 「68\_\_不動産取引業」従業者数\_\_男女計より  
なお、同計数は2021年6月1日時点のもの。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当事業年度 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	878,485	899,784
売掛金	135,592	146,824
前払費用	9,765	9,780
未収入金	176	1,075
預け金	—	76,634
貸倒引当金	△3,636	△3,154
流動資産合計	1,020,383	1,130,944
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	—	3,009
工具、器具及び備品（純額）	117	1,780
有形固定資産合計	117	4,790
投資その他の資産		
繰延税金資産	36,833	45,473
差入保証金	10	26,125
その他	625	0
投資その他の資産合計	37,468	71,598
固定資産合計	37,586	76,388
資産合計	1,057,970	1,207,333
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	41,115	53,453
未払費用	17,947	22,892
前受金	5,718	10,706
預り金	11,602	12,237
未払消費税等	32,755	27,499
未払法人税等	59,141	27,510
流動負債合計	168,279	154,300
負債合計	168,279	154,300
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	229,995	245,004
資本剰余金		
資本準備金	228,995	244,004
資本剰余金合計	228,995	244,004
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	428,063	577,193
利益剰余金合計	428,063	577,193
自己株式	—	△24,198
株主資本合計	887,055	1,042,003
新株予約権	2,635	11,030
純資産合計	889,690	1,053,033
負債純資産合計	1,057,970	1,207,333

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,301,771	1,447,436
売上原価	562,871	682,470
売上総利益	738,900	764,966
販売費及び一般管理費	459,283	567,330
営業利益	279,617	197,636
営業外収益		
クレジットカードポイント収入	920	1,202
受取利息	389	2,782
広告収入	372	372
その他	53	309
営業外収益合計	1,735	4,666
営業外費用		
支払手数料	—	151
営業外費用合計	—	151
経常利益	281,352	202,151
税引前当期純利益	281,352	202,151
法人税、住民税及び事業税	79,102	61,661
法人税等調整額	△6,921	△8,639
法人税等合計	72,181	53,022
当期純利益	209,170	149,129

## 売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)		当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		407,763	72.4	491,923	72.1
II 経費	※	155,107	27.6	190,546	27.9
当期売上原価		562,871	100.0	682,470	100.0

## 原価計算の方法

原価計算の方法は、実際原価による個別原価計算を採用しております。

(注) ※ 内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
業務委託費 (千円)	16,156	20,189
通信費 (千円)	138,787	170,197
減価償却費 (千円)	163	159

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	222,441	221,441	221,441	218,892	218,892	662,776	—	662,776
当期変動額								
新株の発行	7,553	7,553	7,553		—	15,107	—	15,107
当期純利益			—	209,170	209,170	209,170	—	209,170
自己株式の取得			—		—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—	2,635	2,635
当期変動額合計	7,553	7,553	7,553	209,170	209,170	224,278	2,635	226,913
当期末残高	229,995	228,995	228,995	428,063	428,063	887,055	2,635	889,690

当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	229,995	228,995	228,995	428,063	428,063	—	887,055	2,635	889,690
当期変動額									
新株の発行	15,008	15,008	15,008		—		30,017	—	30,017
当期純利益			—	149,129	149,129		149,129	—	149,129
自己株式の取得			—		—	△24,198	△24,198	—	△24,198
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—	—	8,395	8,395
当期変動額合計	15,008	15,008	15,008	149,129	149,129	△24,198	154,948	8,395	163,343
当期末残高	245,004	244,004	244,004	577,193	577,193	△24,198	1,042,003	11,030	1,053,033

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	281,352	202,151
減価償却費	274	557
株式報酬費用	2,635	8,395
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,201	△481
受取利息	△389	△2,782
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,980	△11,231
未払金の増減額 (△は減少)	2,997	12,337
その他	20,504	1,484
小計	280,595	210,431
利息の受取額	389	2,082
法人税等の支払額	△59,579	△92,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,406	120,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△5,230
差入保証金の回収による収入	—	3,505
差入保証金の差入による支出	—	△26,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△28,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	15,107	30,017
自己株式の取得による支出	—	△24,198
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	—	△76,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,107	△70,815
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	236,513	21,299
現金及び現金同等物の期首残高	641,972	878,485
現金及び現金同等物の期末残高	878,485	899,784

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産額	298円57銭	345円75銭
1株当たり当期純利益	71円39銭	49円33銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	64円22銭	45円86銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	209,170	149,129
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	209,170	149,129
普通株式の期中平均株式数(株)	2,929,962	3,022,722
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	326,944	228,869
(うち新株予約権(株))	326,944	228,869
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数224個(普通株式22,400株))	新株予約権2種類(新株予約権の数617個(普通株式61,700株))

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。